

[どこに?] 鳥取県 倉吉市

敷地面積: 約1.8万㎡
延床面積: 約1万㎡

(建設予定地: 倉吉パークスクエア東側)

鳥取県の中心に位置し、県内各地から集いやすく、美術館からアウトリーチもしやすい立地で、周辺の文化施設や観光施設等との連携を図ります。



[どうやって?]

県内外の10社で構成する **鳥取県立美術館パートナーズ株式会社** が美術館を整備し、県と一緒に運営していきます。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 大和リース株式会社(代表企業) | セコム株式会社(維持管理) |
| 株式会社横総合計画事務所(設計・工事監理) | 山陰リネンサプライ株式会社(維持管理) |
| 株式会社竹中工務店(設計・建設) | 富士総合警備保障株式会社(維持管理) |
| 株式会社懸樋工務店(建設) | アクティオ株式会社(運営) |
| 三菱電機ビルソリューションズ株式会社(維持管理) | 株式会社丹青社(建設、運営) |

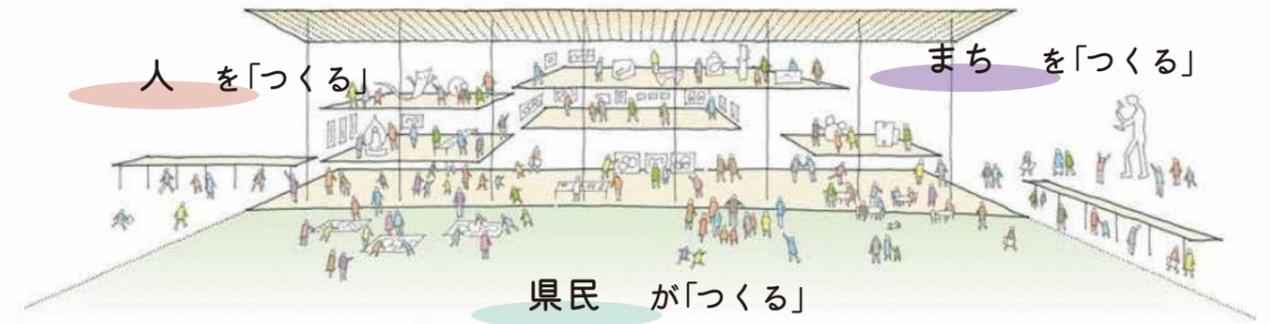
県立美術館の整備運営にあたっては/
県内企業の参画促進 県民の雇用促進
地場製品の活用 地域経済の活性化に寄与

令和7年春(令和6年度中)
未来を『つくる』美術館、誕生

鳥取県立美術館

TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

OPENNESS!



工事の進捗状況を配信しています!

- 県立美術館のプレサイトでは、建設地の様子を現場スタッフの目線でお伝えしています。

鳥取県立美術館プレサイト (施設整備の進捗)
<https://tottori-moa.jp/initiative/progress/>

- Instagram では、定点観測の記録を公開しています。



Instagram



パスミー! 『Pass me!』

鳥取県立美術館ができるまでを発信するフリーペーパー。県民一人ひとりがプレイヤーとなって、さまざまな人へ「Pass」しながら、ともに鳥取県立美術館をつくっていく足跡を伝えます。ぜひお手に取ってご覧ください。

配布場所 鳥取県立博物館、公立図書館、大型商業施設、道の駅、大学、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館など

[どんな美術館?]

■ だれもが郷土や世界の芸術文化にいつでも親しむことができる環境を整備

50年にわたる鳥取県立博物館美術部門のコレクションと活動を引き継ぎながら、

- ・収蔵スペース 常設展示室を拡充
- ・ワークショップルームを新設
- ・教育普及部門を拡充し、
アート・ラーニング・ラボ (A.L.L.: Art Learning Labo) を開設、すべての人の「アートを通じた学び」を支援します。

■ 時代とともに成長を続ける魅力的なコレクション形成

- ・鳥取県ゆかりの優れた美術品
- ・広く国内外の優れた美術・文化、同時代の美術の動向を示す作品

■ まちとつながり、文化と出会う場所

- ・史跡大御堂廃寺跡に向けて広がる活動空間
- ・開放的な大屋根の下に広がる多くのフリースペース

多様な人々、アート、文化との
出会いと創造性を日常的に

■ だれにでも開かれた“ともにつくる”しくみ

- 施設整備・開館準備期においても、
- ・美術館づくりの進捗をオープンにし、
 - ・地域や文化施設と連携しながら、
県内全域にひろがる多彩な事業を展開していきます。

[開館までのスケジュール]

R2 (2020年度)	R3 (2021年度)	R4 (2022年度)	R5 (2023年度)	R6 (2024年度)	R7 (2025年度)
設計期間	県民みんなで準備する 建設工事期間			開館準備 期間	開館
	着工イベント ~ 県民参画イベント ~ カウントダウンイベント ~ 竣工イベント etc.				
					県民みんなで美術館を育む

鳥取県教育委員会事務局 美術館整備局

住所 〒682-0816 倉吉市駄経寺町 212-5 (倉吉未来中心2階)

電話 0858-47-3011 FAX 0858-47-3022

E-mail bijyutsukan-seibi@pref.tottori.lg.jp

URL <https://www.pref.tottori.lg.jp/bijyutsukanseibi/>

鳥取県立美術館プレサイト

<https://tottori-moa.jp/>



Facebook



Twitter



LINE



令和7年春OPEN! 鳥取県立美術館

『未来を“つくる”美術館』の姿



Check 1.>>

大御堂廃寺跡を望む 展望テラス

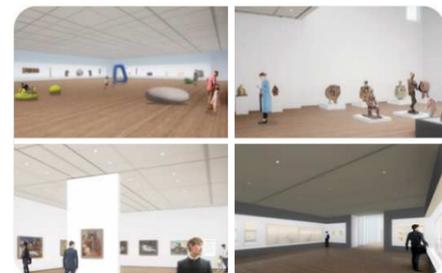
2階のテラスからつながる3階の展望テラスは、隣接する特別展示コーナーと連携した展示も可能にします。



Check 2.>>

企画展示室・常設展示室

機能的で使いやすく、鑑賞しやすい展示空間。3階に1000㎡の企画展示室、2階に5つの常設展示室を備えます。



Check 3.>>

エントランス横に位置する 県民ギャラリー

訪れた人の目に最初に飛び込んでくる県民ギャラリー。街に開かれた空間が、県民のみなさんの作品発表の場となります。



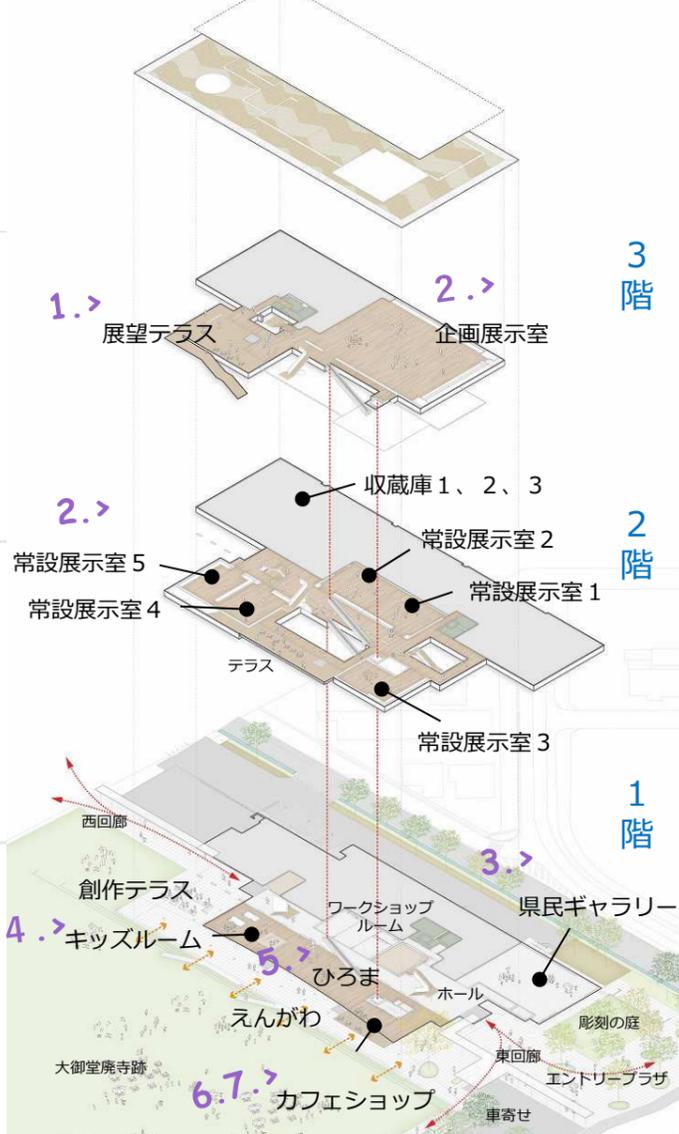
Check 4.>>

創作テラスとつながる キッズルーム

1階『ひろま』横には、こどもたちや家族でつるげるキッズルームを設けています。野外での創作活動ができる奥の創作テラスにつながります。



多様な『体験の舞台』と立体的回遊性



Check 5.>>

木の温かみを感じられる居心地の良い 『ひろま』

1階の『ひろま』を中心に『えんがわ』等での多様な活動が、訪れるたびに新たな出会いと発見をもたらします。



県民が主役となるアートフェスティバルの開催

3年に一度の「トツトリエンナーレ」などを企画して、美術館から街へとアートを広げます。



Check 6.>>

お気に入りのアートに出会える ミュージアムショップ

県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携したオリジナルグッズも開発します。

アート発表の場としても活用できます!



Check 7.>>

大御堂廃寺跡に面し、『ひろま』とつながる カフェテリア

美術館や展覧会をモチーフにしたオリジナルメニューの提供や、食×アートをテーマにした気軽な体験や交流イベントを開催します。

